

## 環境経営（E + QCD）こそが、自社の生命

株式会社三ツ矢（本社：東京都品川区 草間 誠 一郎 社長 従業員 236 名 <http://www.mitsuyanet.co.jp/>）は創業昭和 6 年の、めっき加工のパイオニアです。各種電子・電気部品、自動車部品などへの高信頼度めっきを行っています。またその高度な最新技術が日本人宇宙飛行士の毛利衛氏が宇宙船内で行った実験で使用された「イメージ炉」の金鏡面反射鏡に用いられ、地上では得ることの出来ない金属生成に貢献しました。

東京の五反田と八王子、山梨は甲府、山形は米沢に拠点があり、それぞれが主体的にQ（品質）、C（コスト）、D（納期・供給量など）の改善に取り組んでいる活気に溢れた会社です。2005 年夏に、従来からの環境改善活動を更に強化し、全ての経営活動を環境（E）という視点で行動するために、五反田工場と米沢工場は、それぞれエコステージの導入による環境経営システムの構築を行い、2006 年 2 月にエコステージ 1 の認証を取得しました。

エコステージの取り組みについて、五反田工場（鈴木善廣工場長 従業員 70 名 [http://www.mitsuyanet.co.jp/f\\_gotanda.htm](http://www.mitsuyanet.co.jp/f_gotanda.htm)）の鈴木工場長にお伺いしました。

### <エコステージ導入の目的（もしくはきっかけ）をお教え下さい。>

鈴木氏：御得意様の要請で環境 ISO14001 または第 3 者機関による環境マネジメントシステムの認証取得を迫られていました。そんな時、エコステージの存在を知りました。エコステージは ISO14001 に比べ弊社の企業規模に対し取得費用が適切であること。認証取得を要請している御得意様がエコステージを推奨していたこと。自社のレベルにあった環境経営システムの構築が出来ること。これらが、エコステージ導入の主な理由です。

### <エコステージ導入による変化や具体的な効果はございましたか？>

鈴木氏：五反田工場の従業員全員参加のエコステージ研修初日、現在の地球環境の深刻さ、重大さを再認識し、三ツ矢も 1 つの企業として地球環境に与える影響は重大であると皆が認識したと思います。環境経営はまさに全社活動であり、組織的にかつ継続的に行わなければならない。それなくして環境改善は困難であると考えました。最初はまったくわからない状態でしたが、KAZ コンサルティングさんのご指導の下、三ツ矢なりのシステム構築が出来ました。エコステージの活動は「省エネ、省資源、リサイクル」という、まだ初期の段階ですがある程度の効果が見えて来ました。これがさらに進めば経費の削減、作業効率の改善などもでき、コストダウンも可能であると思います。

### <活動の中で、ご苦労された点・難しかった点などがございましたか？>

鈴木氏：環境管理委員のほとんどが環境規格要求事項の知識がなかったため、コンサルタントの先生方が求めているものがなかなか理解できず、各回の追加コンサルティング迄の間に資料の用意等が出来上がらなかったことです。

### <それでは、今後の取り組み計画をお聞かせ下さい。>

鈴木氏：エコステージ 1 の改善活動をしっかり行い、更にエコステージ 2、3 へとステップアップを行っていききたいと思います。今後は品質 ISO9001 の認証取得も検討して行きます。

#### <従業員全員による初回研修会>



#### <工場内の監査>

